

テーマ：アイヌの人たちの歴史・文化等（実践校）

オホーツク管内 北見市立相内小学校

■本実践のポイント（概要）

- ・ふるさとに対する愛着や誇りを育むため、児童が調べてまとめた資料を校内に設置するとともに、北海道アイヌ教育相談員を外部講師として招聘し、講話や体験的活動等を通して、アイヌの人たちの歴史や文化について探究的に学習しました。

■ふるさと教育・観光教育の実践内容

①取組の様子

(1) 課題の設定

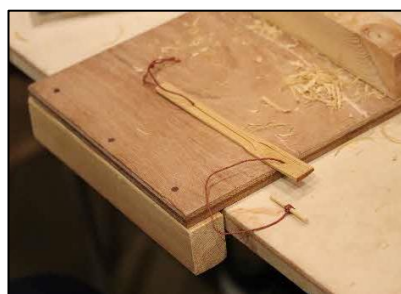
先住民族であるアイヌの人たちの歴史や文化等について調べるため、釧路阿寒方面を訪問し、体験的な学習を通して、「アイヌ文化や歴史について、テーマに沿って発表しよう」という探究的な課題を設定しました。



【体験的な学習の様子】

(2) 情報の収集

北海道アイヌ教育相談員や近隣博物館の学芸員の話をお聴くことにより、アイヌの人たちが自分たちの文化を大切に守ってきたことを学びました。また、アイヌの人たちの歴史や文化について、ICT端末、本、パンフレット等を活用して情報を収集しました。



【児童が制作したムックリ】

(3) 整理・分析

収集した資料や聞き取った情報を整理・分析し、「道具一つ一つに意味や思いがあること」「踊りや儀式は自然や神々との関係があること」等を学びました。

(4) まとめ・表現

テーマ別に、学習したことをスライドやパワーポイントを活用してまとめ、各グループで発表し合うとともに、保護者や地域の方々に発表し、理解を深め合いました。



【「アイヌ古式舞踊」見学の様子】

②児童の感想等

- ・ムックリ作りやアイヌ舞踊等を実際に見る経験ができ、アイヌの人たちの文化や歴史について多くのことを知ることができました。
- ・アイヌコタンやアイヌシアターイコロで見た、「アイヌ古式舞踊」や「火のカムイの詩」等は迫力があり、よい経験ができました。

■取組の成果（○）と課題（●）

- 児童一人一人が興味に合ったテーマを設定するとともに、課題に対し、目的意識をもって取り組むことにより、アンケートにおいて、全ての児童が「今後もアイヌの人たちの歴史や文化を調べたい」と回答したことから、アイヌの人たちの歴史や文化等に対する関心・意欲を高めるとともに、「ふるさと相内」に対する愛着や誇りを育むことができました。
- 調べ学習では、インターネットを活用することが多いことから、情報の正否を見極め、正しい認識がもてるよう指導を充実させる必要があります。